

福祉のまちづくり懇談会(H27.7.31 元町・上清戸)ニュース

◆当日の振り返り

懇談会には12名が参加をしていただき「元町・上清戸の困りごと・気になること」をグループごとに話し合いました。地域住民の方、福祉関係者の方などのご参加があり、様々な視点からの意見交換・発表いただきました。



◆地域の困りごと・気になること

・【つながり】…「ご近所づきあいがもっとほしい」「認知症らしい高齢者の事が気になる」「近隣の自治会の付き合いがない」などご近所さんとの関係が希薄になっていることを危惧した声や「高齢の方にどのくらい踏み込んだらよいかわからない」という不安も聞かれました。

・【サポート】…「介護されている方の家族」「元気がない方が気になるが声のかけ方がわからない」など心配な方へのサポートについて気になるとの声もありました。

・【未来】…「子どもの遊ぶ場所が近くにない」「子どもが増えたがうるさいと思っている方もいる」「結婚に踏み切れない若者」など未来を心配されていらっしゃいました。

◆地域にほしい取り組み

これらの問題を踏まえて、あったらいいと思う取り組みを話し合い、「一人でもできそうなこと」、「何人かいればできそうなこと」、「地域全体で頑張ればできそうなこと」の3つに分類しました。

・【サポート】では、「ボランティアさんを増やす既存の福祉サービスが実際に困っている人につながるよう「潜在利用者の掘り起こしなどを活発化する施策」が必要という声もありました。

・【つながり】をつくるために、「思い切って声掛けしてみる」「あいさつ+一言」など積極的に交流を持とうという声や、さらには「小地域でゴミ拾い大会をして地域のつながりを」「空家を使ってサロンを」などのアイデアをありました。

・高齢者や子どもを見守り、「助け合いができるようにする」など安心できる【未来】に向かっていきたいという声がありました。

◆次回の懇談会にむけて

「意識の中で少しだけでも、地域のことを考えながら生活したい」という感想もいただきました。また「地域全体で頑張ればできそうなこと」のアイデアが一番多くいただきましたが、課題に対して地域全体で意識したいものです。今後もこの懇談会を継続して行いながら、より多くの方にご参加いただき、地域の方とともに住みやすい福祉のまちづくりを目指していきたいと思っております。